

「特殊詐欺、ひとごとじゃない！」キャンペーンについて

長野県県民文化部くらし安全・消費生活課

1 発生状況（平成27年1月～4月累計・暫定値）～1か月に20件のペースで多発～

- 認知件数 82件(前年同期比 +20件 増減率 +32.3%)
- 被害額 2億8,755万1,217円(前年同期比 △1億1,383万1,773円 増減率 △28.4%)

2 発生傾向

- 認知件数全体の40%が「オレオレ詐欺」(うち9割が「息子がたり」)
- 「オレオレ詐欺」「還付金詐欺」の被害者は、全て60歳以上の高齢者
- 新幹線沿線地域(長野市、上田市、千曲市)で被害者が急増
(石川県、富山県、新潟県でも被害が急増)
- 特定地域における同窓会名簿、電話帳等を利用した前兆電話が急増

3 被害者の意識～多くの人が「だまされない。」と思っている～

被害者の9割・・・「特殊詐欺を知っていた。」
被害者の8割・・・「自分はだまされないと思っていた。」

周知は進んだが、
「ひとごと」と思っ
ている？

4 「特殊詐欺、ひとごとじゃない！」キャンペーンの実施

(1) 目的

- ・県民の特殊詐欺への危機意識・当事者意識を醸成し、警戒力を強化する。
- ・卑劣な詐欺へ「家族の絆」と「県民の一致団結」で立ち向かう気運を醸成する。

(2) 内容

ア 県民運動の推進

- ・「家庭の日」「敬老の日」等をきっかけにした家族間での定期的な声かけの推奨
- ・テレビ、ラジオCMの放映、各種広報媒体を活用した啓発の強化
- ・まずは県職員が実践し、あらゆる機会を通じて県民へ広く呼びかける

イ 被害多発地域の高齢者に対する集中対策

- ・詐欺の前兆電話に負けない訓練型出前講座（「周知」から「体験」へ）
- ・高齢者の「この電話、詐欺かも？」との気づきを促す啓発グッズの作成、配付
- ・利用されている可能性が高い同窓会名簿掲載者への注意喚起の強化

ウ 長野県消費者被害防止対策推進会議の開催（6月23日）

(3) 期間

平成27年5月29日～平成27年12月31日

「特殊詐欺、ひとごとじゃない！」キャンペーン

県民の皆さんへ

- ☞ 「家庭の日」（毎月第三日曜日）「敬老の日」等をきっかけにして、子（特に息子）から親へ、或いは祖父母へ定期的に電話をしましょう。
- ☞ 電話だけでなく、時には帰省して顔を見ながら話をしましょう。
- ☞ 自分の家族だけでなく、隣近所やご親戚の方にも広く呼びかけをお願いします。

♥ 話していただきたい内容

- ・特殊詐欺の被害が急増しているらしいよ。
- ・特に、息子をかたるオレオレ詐欺が多いみたいだ。
- ・被害者の9割が「特殊詐欺」を知っていたって。（なのにだまされたんだ。）
- ・しかも、被害者の8割が「自分はだまされない」と思っていたって。（だからだまされたんだ。）
- ・父さんも（母さんも）、自分だけは大丈夫だと思っではダメだよ！

ひとごとじゃないんだよ！

- ・もし、自分（あなたのことです。）の携帯電話の番号が変わったと、電話で言われたら、とにかく自分の元の番号に電話して。
- ・電話口でお金のお話が出たら、すぐに自分や他の家族に相談して。一人で（夫婦だけで）判断してはダメ！
- ・訓練のために、詐欺の真似をした電話をかけてみるから、ちゃんと自分に電話をかけ直してみてね。
 - ⇒ 親から相談の電話があればOK
 - ⇒ かかってこなくても親を怒らなくて、もう一度訓練しましょう。
- ・あやしい電話、おかしい電話があったら、すぐに〇〇警察署（地元の警察署）に電話して！



♥ 親子で合言葉を決めましょう！

- ・電話でお金のお話が出たら、合言葉を相手（詐欺犯）から言ってもらいましょう。
- ・「合言葉を忘れた」「合言葉が変わった」という言葉に惑わされて、親が自分から合言葉を言ってしまわないように注意しましょう。
- ・合言葉を紙に書いて、一緒に子ども（あなた）や孫（あなたの子供）の写真を貼り、目につきやすいところに貼りましょう。
- ・言葉だけではすぐに見慣れてしまいますので、写真も一緒に貼りましょう。（できれば、定期的に写真を交換しましょう。）

♥ 電話機対策も効果的です

- ・留守番電話設定、家族の電話番号の登録、非通知電話拒否設定など、お盆などに帰省した時に、設定してあげましょう。
- ・ナンバーディスプレイの機能があるのに契約されていなかったら、あなたが契約してあげましょう。
- ・敬老の日のプレゼントとして、特殊詐欺対策用機器を贈ってあげるのはいかがでしょうか。

